

「台東区芸術文化支援制度」の支援金を増額することについての陳情

平成18年に設立された「台東区芸術文化支援制度」は、台東区、また区民の芸術・文化を高めるため、また推進するためには、非常に有効である。

しかし、現在の支援金額300万円では不十分である。

H20～24年の資料

H20年度	応募件数65件	支援対象4件	総額200万円
21	36	3	200
22	50	5	200
23	40	5	300
24	44	4	300

区の内外で芸術活動を行っている者、又は、行おうとする若い人達は「台東区芸術文化支援制度」に多大な関心を持っている。

この支援制度に応募しようとした件数は、上記より大幅に多いことは当然であるが、応募（申請書を受理された）した約十件に一件しか、支援対象にされていない。

採択された対象の新企画は、新しい表現、創造性などと云われている企画が殆どを占めている。（私には意味不明）

しかし、今まで、地域において、地道に長期にわたり芸術文化活動（古典を含む）をしている個人・団体にも目を向け、評価し、支援することも、より必要ではないか。

また、地域の多くの人たちが、直接参加する企画も、積極的に支援の対象とすべきではないか。

多くの若者の芸術活動に支援を行うとともに、長年の芸術活動者、地域全体の芸術文化活動の企画者にも、進んで支援の幅を広げるべきである。

「この台東区が、真の文化の区になるために」

区の、「台東区芸術文化支援制度」の支援金の増額を望む。

以上

平成25年8月1日

台東区議会議長

和 泉 浩 司 殿